

わきみず

発行者 曹洞宗
 普門山 林泉寺
 三戸町斗内寺字牛25
 0179-25-2850

新年

おめでとうございます

永寿嘉福

いちりん

咲けば

また

一りんのお正月

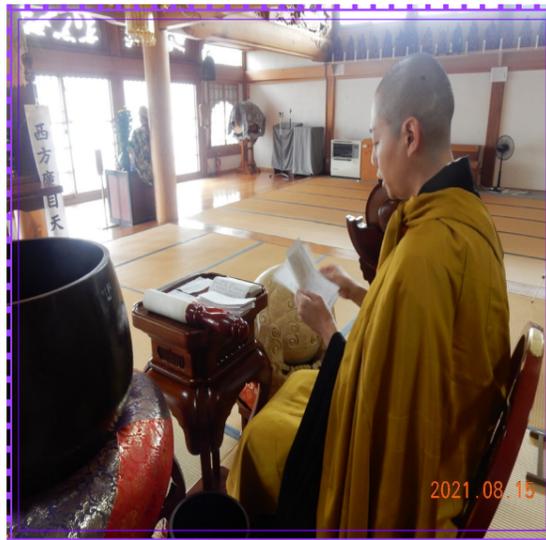
お正月



令和四年
元旦



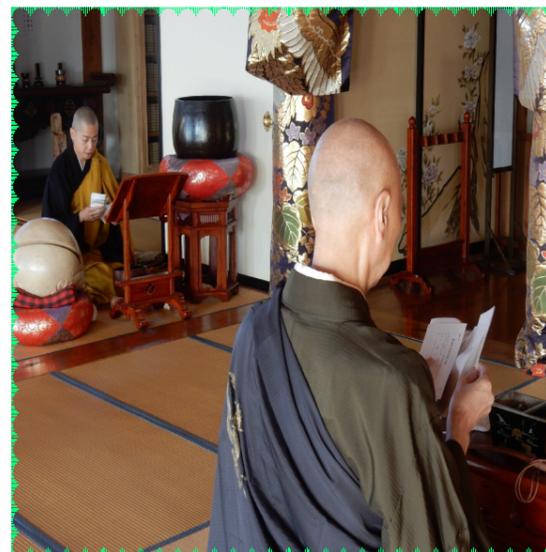
今年の檀家さんが一堂に会しての「新年ご祈祷会」は中止とさせて頂き、読み込みの申し込みは受け付けまして、住職・副住職だけで執り行います。
 尚、ご祈祷札は、一月二日以降に取りに来て頂ければと思います。



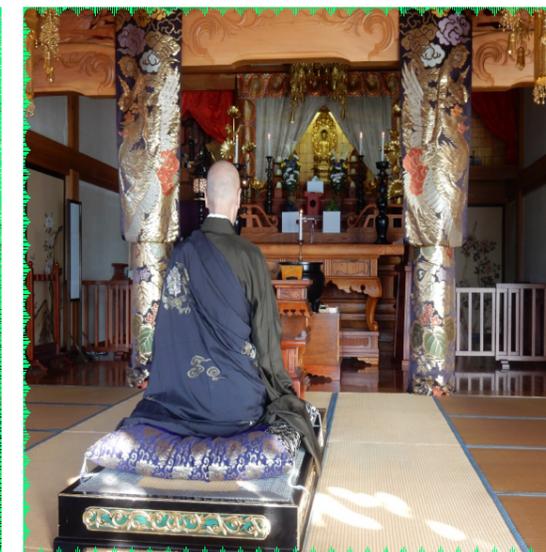
各家先祖代々読み上げ



施食壇の前で焼香



各家先祖代々読み上げ



読経

令和三年

盂蘭盆供養会

令和三年八月十五日

まだ新型コロナウイルスが予断を許さない時期なので、無檀家さんで、ご供養させて頂きました

令和三年

秋彼岸供養会

令和三年九月二十三日

新型コロナウイルスの感染者が減少してきたとはいえ、今が押さえ込みの時期なので無檀家さんで、ご供養させて頂きました

新年も寺多き年であらう
 じよりお祈り申しあげます

本年もまた引き続き豊作で良き新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
 私もお陰様で、当寺に赴任して十五回目の正月を迎えることができました。誠に有難いことと感謝いたしております。
 さて、新型コロナウイルスが収束の兆しを見せていますが、まだまだ油断大敵です。これからも拡散防止に努めていきたいものです。
 人間「生きる」ということは、何にも増して喜ばしいことでありまして、年々歳々新しい年を迎えるたび、自分の生命のあることをお互いに喜び合い、感謝するとともにさらにこの生命をいつまでも続けていきたい、と思うものでございます。
 しかし、われわれのこうした願いも、老病死という厳しい現実の前には、どうするすべもなく、はかなく消え去ってしまうのが常のようであります。
 そしてそういう時に初めて、神頼みや仏参りをしたりして、助けてもらいたいと思っております。
 ここは新年にあたり、寺参り、墓参りをして、ご先祖さまと新年の挨拶を交わしてみたいかがでしょうか。
 本年も宜しくお願い申し上げます。
 令和四年一月元旦

当寺

住職 飯原 啓誠

副住職 拓郎 合掌

美貴 合掌

柊花

当寺十六世中興開山 圓通啓道大和尚

小祥忌(一周忌) 法要厳修

檀家の皆様には、一昨年の先住当寺十六世中興開山 圓通啓道大和尚の葬儀の際には多大なるご協力を賜りまして、改めて御礼申し上げます。去る、八月三十一日、私の師匠であり、對泉院方丈 上田祥悦老師を導師に拝請し、総代、奥瀬家遺族だけで、小祥忌(一周忌) 法要を厳修させて頂きました。

しーんと静まりかえった本堂、五人での読経の響き。まっすぐ上る焼香の煙。有難い法要になりました。先住もさぞかし喜んでいらっしゃると思います。彼岸、お盆に関わらず、寺参りに来山の際には、どうか開山堂の遺影・位牌に手を合わせて頂ければ幸いです。



普同三拝

献茶湯

導師入堂

総代方

ご焼香

ご焼香

普同三拝

読経

親族

墓参

墓参

挨拶

ペットの墓 “もふもふ” 完成



新型コロナウイルス禍が長く引く中、生活に癒やしを求めてペットを飼う人が増えているようですが、その一方で、「思ったより大変」と、飼いはじめに動物愛護団体に保護を頼むケースも増加しているそうです。各団体は安易な気持ちで飼わないよう、さらに捨てないよう、「命を扱う責任を忘れないで」と訴えているそうです。

命を扱う責任として、死んだ後のことも考えているのでしょうか。

そこで、当寺では、ペットの墓地を建立いたしました。詳細は、来山もしくは、電話でお問い合わせくださるようお願いいたします。

SOTO ZEN



最近季節感が乏しくなると言われますが、一月七日が近づくと七草粥を思い浮かべる人も少なくないでしょう。青果店やスーパー、野菜・雑穀・御形・繁縷・仏の座・菘・蘿蔔を盛り合わせた、かわいらしい籠を見かけることもあります。

七草粥を食べることは、一四〇〇年以上前の梁の時代に書かれた『荆楚歲時記』に「正月の七日を人日となし、七種類の野菜で羹をつくる」と記されています。

七草の別名「益寿菜」です。寿命をのばすだけでなく、幼児が食べると知恵がつき、老人が食べると若返るといい伝えられていました。七草の風習は平安時代に日本に伝わり、貴族の間では若菜が食べられていました。長寿と幸福を祈る七草粥の行事が広まったのは江戸時代に五節句の一つに定められてからでしょう。



これも 仏教の言葉!

知ってましたか?



「ナイスプレー!」二人のイキの合った呼吸で先制点。まさにあうんの呼吸でした! サッカーのゴールや、野球の守備の連携プレーなど、二人の選手の息がピッタリと合った動きは見る者を興奮させます。こうした華麗なプレー、「あうんの呼吸」は、お互いのためまめ努力の結果生まれるのです。

また、何か困ったことや必要な物があるときに、声を掛けなくともすぐ手を差し伸べたり、欲しい物を渡してくれたり、互いの関係がスムーズな場合も、「あうん」の呼吸といえます。

この「あうんの呼吸」の「あうん」も仏教語です。漢字では、「阿吽」と書きます、少し難しい漢字です。この「阿」も「吽」も、文字に意味があるわけではありません。「あ」は口を開いて出す最初の音で、「うん」は口を閉じて出す最後の音です。つまり「あ」で始まり「うん」で終わる、この世界の最初と最後、この世界の全てを表す言葉が「あうん」なのです。

山門の両脇に立つ、仁王像を見たことがありますか。また神社にお参りしたとき、お堂の前の「こまいぬ」を見たことがありますか。その表情、口を開き、もう一方が口を閉じています。この口を開いている方が「阿形」、口を閉じている方が「吽形」といいます。この二人の仁王さま、こまいぬが、阿吽の呼吸を表しているのです。

この二人のように家族や友だちと仲良く息を合わせ、お互いを思いやって

世界を変えるための17の目標

「SDGs (エス・ディー・ジェーエス)」



最近、テレビの報道番組や新聞・ネットニュース記事でよく見聞きするようになった「SDGs」という言葉。「環境問題に代表されるような、様々な社会問題に取り組むこと」というのは何となくわかるけど、「どんな意味なのか?」「なんで今、取り組む必要があるのか?」と疑問に感じている方もいるのではないのでしょうか。

最近、特に環境問題への取り組みとして、この言葉を聞く機会が増えたように感じます。

今回の記事ではSDGsを「簡単に」「わかりやすく」解説していきます。世界中の様々な国で環境問題(気候変動)・貧困・紛争・人権問題・新型コロナ等の感染症、多くの課題に直面しています。このままでは安定してこの世界で暮らしていることが困難になっていくのではないかと。そう心配される状況になってきました。

SDGsとは、17個の目標「持続可能な開発目標」。簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。※「持続可能な」という部分は、「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できることを意味しています。(改善する動きを) 長期間に渡って、実施し続けられる」という意味。

要約すると、このような方針・目標があります。

「貧乏で困っている人を無くす」・発展途上国への支援等が該当します。

「差別のない社会を作る」・年齢や性別、障害、人種、民族、出自、宗教、経済的地位等で差別をしない社会を実現していく事。

「環境を大切に」・地球環境・自然環境に配慮しながら、国や企業が活動できるようにしていく事。

SDGsの事ご理解頂けたでしょうか。小さな手でも多く集まれば、地球をもてる力となるでしょう。一人一人心がけたいものです。



※出自：うまれた家柄、血統、土地など。また、物事の出どころ。出所。